

3 資料館でできること Annual Services by the Museum

1 観る See the Exhibits

【1F】

- 常設展示 Permanent Exhibition
板橋区の歴史を紹介します。
- ミニ展示 Small-Scale Exhibition
板橋の4地域(板橋・上板橋・志村・赤塚)に関する資料を展示します。
- 学芸員の研究室 Laboratory of Curators
学芸員の調査・研究プロセスや新出資料等を紹介します。



常設展示の様子

【2F】

- 企画展示 Special Exhibition
板橋の歴史を語る人物・できごと・地域等の特集します。

【館外】

- 旧田中家住宅
(板橋区指定有形文化財)
江戸時代に建てられた古民家
Old Private House
(Former Tanaka Family Residence)



旧田中家住宅

- 年中行事 Annual events
 - ・桃の節供
 - ・端午の節供
 - ・タナバタ祭り
 - ・お月見
 - ・マユダマ飾り



「新藤楼」の玄関

- 「新藤楼」の玄関:
板橋宿で栄えた貸座敷
Entrance of Itabashi-shuku Brothel "Shin Fujiro"

2 学ぶ・体験する Learning and Experience at the Museum

- 講演会
まがたま
- 勾玉つくり体験
- 鏡の着付け体験
毎年5月5日(こどもの日)
- 武者行列事業
戦国時代の赤塚城主・千葉氏にちなんで
武者行列体験。区内のまつりで地域の子もたちが鎧や着物姿で練り歩きます
(協力:いたばし武者行列保存会)。



武者行列

※各事業は、都合により内容変更・延期・中止となる場合があります。

3 相談する Reference service

- 板橋区の歴史や文化、展示についての質問、調査(随時受付)
- 夏休みの自由研究の相談対応など

4 利用案内 Usage Guidance

- 開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)
9:30 a.m. - 5:00 p.m. (permitted to enter until 4:30 p.m.)
- 休館日
 - 月曜日(ただし、月曜が祝日の場合は開館し、翌日休館)
Closed on Monday (in the case of any national holiday on Monday, opened on Monday and closed on the following day)
 - 年末年始 *展示の入替えや設備点検等で休館する場合があります
New Year's Holidays. *It may be closed due to change of display, any equipment inspection, etc.
 - 館内設備工事のため臨時休館
令和8年5月8日(金)~8月20日(木)予定
Temporarily closed due to building equipment work.
From May 8 (Fri.) to August 20 (Thu.), 2026(scheduled)

入館料 無料 Free of charge

交通案内 ※駐車場はございません。

- 徒歩
 - ①(都営三田線)西高島平駅▶徒歩13分
 - ②(東武東上線)成増駅/(東京メトロ)地下鉄成増駅▶徒歩23分
- タクシー
(都営三田線)高島平駅・西口/(東武東上線)成増駅・北口▶いずれも約5分
- バス
 - ①(都営三田線)高島平駅▶西口2番のりば〔国際興業バス [増17] (区立美術館経由成増駅北口行)〕▶「区立美術館」下車 徒歩2分
 - ②(東武東上線)成増駅/(東京メトロ)地下鉄成増駅▶北口2番のりば〔国際興業バス [増17] (区立美術館経由高島平操車場行)〕▶「区立美術館」下車 徒歩2分 *美術館を経由しないバス(系統)もあるので乗車前に確認してください



板橋区立郷土資料館

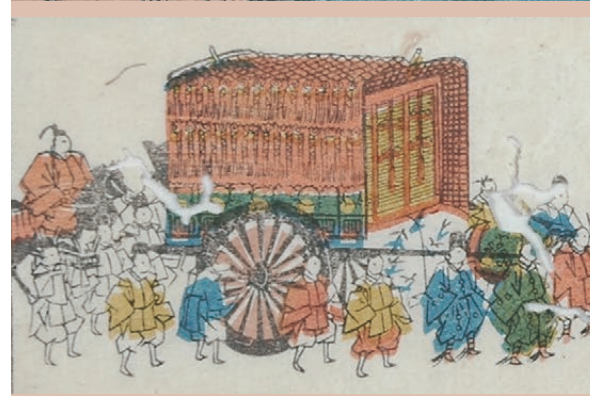
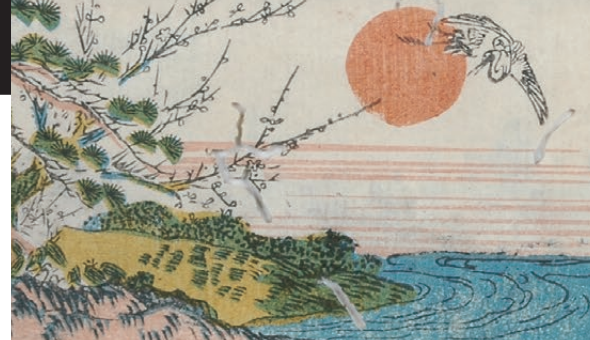
〒175-0092 東京都板橋区赤塚五丁目35番25号
TEL.03-5998-0081 FAX.03-5998-0083

E-MAIL kyoudo@city.itabashi.tokyo.jp

ホームページ https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kyodoshiyokan/

区立板橋郷土資料館

令和8年度展示案内



和宮行列図(「萬延千登世の鏡」部分)

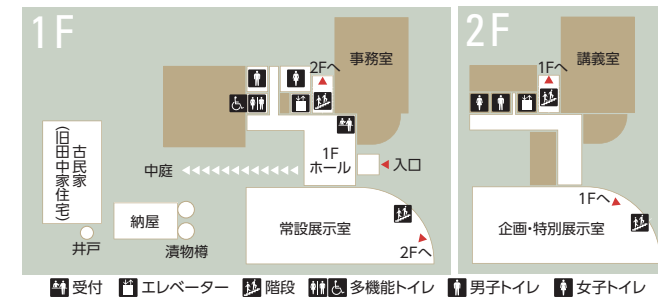
1 館紹介 Introduction of Museum

板橋区立郷土資料館は、昭和47年(1972)開館の文化施設です。赤塚城址および赤塚溜池公園に隣接しています。当館では、板橋区の歴史や文化に関わる資料を保存・調査しています。また、展示や教育普及事業を通じ、地域・歴史・文化の振興を図っています。



郷土資料館外観 Exterior of Itabashi Historical Museum

Itabashi Historical Museum, next to Akatsuka Castle Ruins (Akatsuka-Jyoshi) and Akatsuka Pond Park (Akatsuka-Tameike-Koen), was established in 1972. This museum preserves/investigates some materials regarding history/culture of Itabashi City, and tries to promote the regional culture through display and educational promotion activities.



2 主な収蔵資料 Main Collection Materials

板橋区に関するコト・モノの資料を収蔵しています。

- 中山道板橋宿 Nakasendo Itabashi-shuku



木曾街道板橋宿の驛

- 幕末の砲術家・高島秋帆と西洋流砲術
TAKASHIMA Shuhan (an artist in the late Edo period) and western-style artillery



高島四郎大夫砲術稽古業見分之図

- 戦時中の生活や学童疎開
Life during the war and evacuation by school children



竹かぶとと拍子木

- 煎茶道 Sencha-do (Japanese green tea ceremony)



豊田家煎茶道具一式

- 江戸・明治期などの古文書
Ancient documents mainly during the Edo period/Meiji period



ひらおはたごまかん 平尾旅籠図面

- 民具 (農機具など) Articles for everyday use (agricultural implements, etc.)



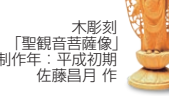
唐箕

- 甲冑刀剣類 Armor/Swords, etc.



本小札 黒糸威丸銅具足 (伝・板倉家甲冑)

- 伝統工芸 Traditional crafts



「聖観音菩薩像」制作年：平成初期 佐藤昌月 作

- 人類学者・石田収蔵の北方民族調査
Survey on northern people by ISHIDA Shuzo (an anthropologist)



ミミズク形木偶

ITABASHI HISTORICAL MUSEUM
Information about Exhibition in April, 2026 - March, 2027



令和8年8月29日(土)～10月4日(日)

August 29 (Sat) - October 4 (Sun)

常盤台の街と写真館

Tokiwadai Town and Photo Studio

昭和10年代に計画的に誕生した郊外住宅地・常盤台の歴史と、その街の人びとの暮らしを記録してきた写真館の役割に注目する展示です。

常盤台は、東武東上線の整備を背景に、昭和10年代から住宅地として開発・分譲が進められ、「文化住宅」として新しい都市生活の場となりました。

こうした街の成立とともに、家族の姿や人生の節目を写真として残す役割を担ったのが、常盤台写真場です。昭和12年(1937)に常盤台一丁目に建てられた常盤台写真場は、住居を兼ねた写真館として、人びとの家族写真や記念写真を数多く撮影してきました。現在、その建物は、江戸東京たてもの園に移築・展示されています。

本展では、地域に残された風景写真から常盤台のかつての街並みを紹介するとともに、常盤台写真場で使用されていた写真機材を通して、写真が人びとの生活や記憶とどのように結びついていたのかを明らかにします。



常盤台写真場
江戸東京たてもの園移築前写真



常盤台写真場スタジオ写真

画像提供：江戸東京たてもの園

令和8年10月17日(土)～12月20日(日)

October 17 (Sat) - December 20 (Sun)

上板橋小学校創立150周年

まてばしい語る昔をうけついで

150th Anniversary

of Foundation of Kami-Itabashi Elementary School
- passing down past the school stories -

上板橋小学校は、明治9年(1876)10月26日、安養院の近くにあった宝蔵院を仮校舎として開校し、令和8年(2026)で創立150周年を迎えます。

明治15年5月7日に、現在の場所に茅葺屋根で木造平家建の校舎を新築し移転しました。上板橋村は村の範囲が広く、開校前から地域にあった家塾とも連携し、地域の支えのもとで学び舎を守ってきました。そうした資料が評価され、平成20年度には、上板橋小学校校史資料140点が区登録有形文化財に登録されました。

本展示では、この校史資料を中心に、大正期の児童による絵画作品や、戦時中の日誌などの貴重な資料を展示し、上板橋小学校のあゆみをご紹介します。



サイレン



昭和十九年度 学校日誌



東京府北豊島郡
上板橋村立
上板橋小学校之印



三日月草

いずれも上板橋小学校所蔵

令和9年1月16日(土)～3月14日(日)

January 16 (Sat) - March 14 (Sun)

没後150年 皇女和宮、中山道をゆく—旅路に残したおくりもの—

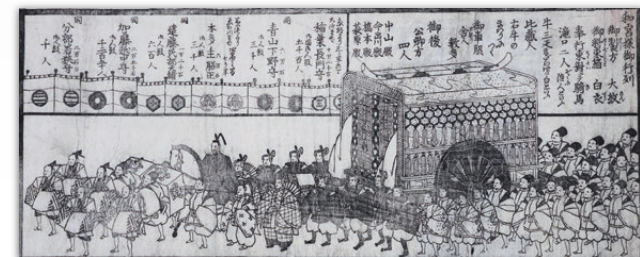
- 150th anniversary of her death -

Princess Kazu Imperial Palanquin Journey along the Nakasendo Road
- A Left Imperial Grant Behind on the Journey -

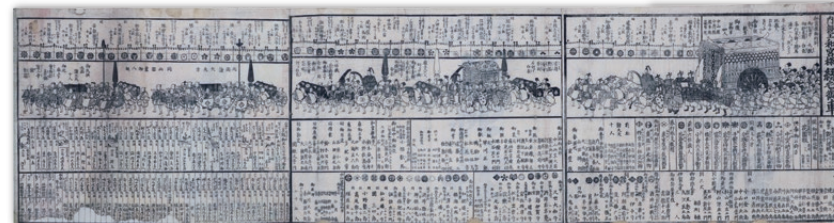
中山道は、徳川将軍に輿入れる姫君の通行で度々利用されました。その中でも最大規模の行列は、文久元年(1861)の和宮の14代家茂への輿入れであり、その人数は総勢3万人に及んだとされます。幕府の役人によって事前に各宿場の綿密な検分がなされ、人足の準備や建物の修復と新築が行われました。

和宮は文久元年10月20日に京都を出立し、11月15日に江戸城北の丸清水邸に到着しました。板橋宿には11月14日の夕刻に着き、中宿の飯田宇兵衛家にて江戸入り最後の晩を過ごしました。

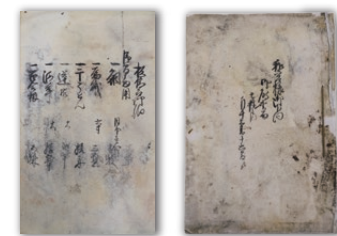
本展では、当時16歳の和宮が京都から江戸へ向かう25日間にわたる中山道の旅路に注目します。和宮一行が休泊した宿場に残した人形や草履、さらに和宮所用として徳川宗家に伝わる衣装や道具など、当館では初公開の資料を展示します。また、各休泊地での一行の食事の再現を試みます。和宮が触れたものを通して、幕末の動乱を力強く生きた姿に思いを馳せていただく機会となれば幸いです。



内親王和宮様絲毛御車(部分)



内親王和宮様絲毛御車



和宮様御下向御触書留

ミニ展示

-1階-

Small-Scale Exhibition

8/21(金)

祈りの夜—いたばしの庚申講—

~12/18(金)

Night of Praying - Koshin-ko gathering in Itabashi -

12/19(土)

いたばしの田遊び道具コレクション

~2027/4/16(金)

Tools Collection for "Ta-Asobi (traditional performance of rice farming)" in Itabashi

学芸員の研究室

-1階-

Laboratory of Curators

4/4(土)

縁の行方—江戸時代の縁切榎ものがたり—

~9/25(金)

Outcome of Fate - a story of "Enkiri-Enoki (The Ties-Severing Hackberry Tree)" in the Edo period -

9/26(土)

板橋区無形文化財登録記念展 いたばしの伝統工芸 江戸筆 佐久間悟
Commemorative Exhibition for the Registration of Itabashi City Intangible Cultural Property- a traditional craft in Itabashi City "Edo-Fude (Edo Calligraphy & Paint Brushes)" Living Treasure Craftsman Mr. Satoru SAKUMA -

~12/4(金)

12/5(土)

むかしの暮らしと道具

~2027/4/9(金)

Old Japanese Lifestyle and Tools

年中行事

-古民家-

Annual Events
- Near Old Private House -



4/11(土)

端午の節供

~5/6(水・休)

Boys' Festival



9/19(土)

お月見

~9/27(日)

Moon-Viewing Festival (Tsukimi)



2027/1/9(土)

マユダマ飾り

Cocoon Balls Decoration
(Mayudama-Kazari)

~1/17(日)



2/13(土)

桃の節供 (ヒナまつり)

~4/4(日)

Girls' Festival (Hina-Matsuri)